



K120.8

68d

1

東久世通禧閱
西澤之助編

尋常小學讀本卷一

東京國光社圖書部

國光社
圖書部

訂尋常小學讀本

例言

一本書は、小學校教則大綱の趣旨により尋常小學校、讀書科の用書よ充てんとして、編纂したるものあり。

一書中記述する所を一、より忠孝の大義よ歸せしめ、其の材料を、修身、歴史、地理、理科、其の他、日常生活よ必須なる事項よつき、我が國體に照し、兒童の心力に應じ且學習す。又季節よ合せて、之を撰出斜列し、以て、日常必須の言語、文字、文章を會得せしめ、之と同時よ、自勤儉の美風を養ひ、尚武の氣象を成し、實業を愛重し

海國の思想を喚起し、軍人となるも學者とあるもはた農商工漁業者とあるも、皆艱苦を凌ぎて各自の職業を勉勵し、我が國の富強を増して、我が大日本帝國の臣民たる本分を盡さんとする思念を發揮せしめんことを期せり。

一本書課程の順序は、單語より短句より進み、順次、短文普通國文に入ること、其の間、談話體より一て、自然に文章體に入らん。

一波行音便も、卷之一より出だす、拗音、促音も、卷之二より出だす、始めて出づる卷より、右傍に、單線を附して、教授よ便ならしめ、疊字は、卷之二より用る、變體假名も、卷之三より、卷之六までに、普通のものけを授了した。漢字も、數字を卷之一より出だし、其の他も、卷之二の中程より出ざして、簡易あるものより、漸繁畫あるものよ及び、本書を終るまでに、日常須知の文字を習得して遺憾なからんあめたり。

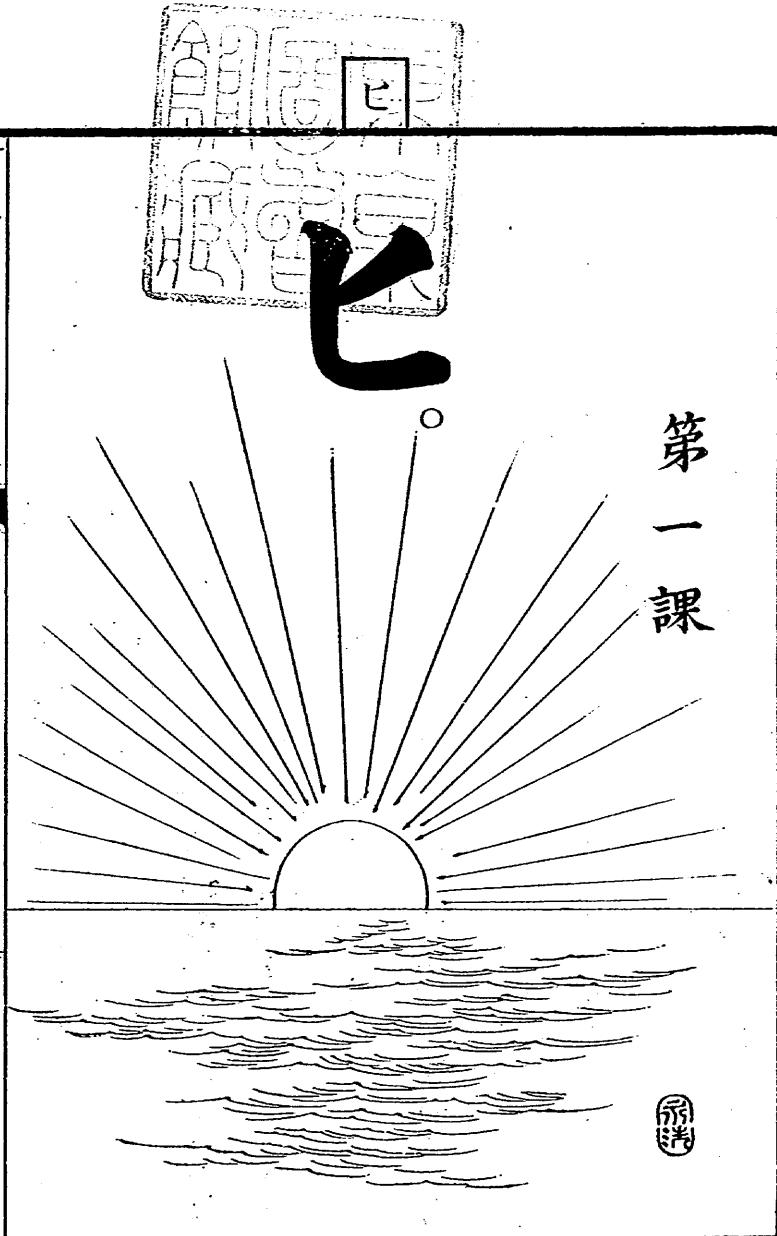
一日用書類も、卷之五より出だす、勉めて、日常須知の文例を示して、應用の途を廣からしむ。歌詞も、唯、其の大意只了して、吟詠の間よ、感情を深からんとて、之を挿入せり。敢て、言詞を理解せしめんためよあら

す。練習も、卷之一、二に、其の課を設けたるも、以下も、之を省きて、教授者よ一任せり。

一圖畫ハ、兒童よ趣味を與へて、本文の會得を扶ぐる外、是を以て、工藝、美術の素地を養ふべきもせあれハ、本書も、其の形狀、安置等よつき、最苦心一たり。

一本書ハ、全部を八冊よ分ち、一學年ふ、二冊宛を課するこ也と。且修業年限三箇年の學校小適用一して、差支なからんづ爲卷之六よて、粗事項を收結して、一段落とせり。

明治二十八年十一月
編者識



第二課

トヒト。



ト

第三課

トリ。ナ。



リ

ナ

ク

モ

クリ。
モモ。

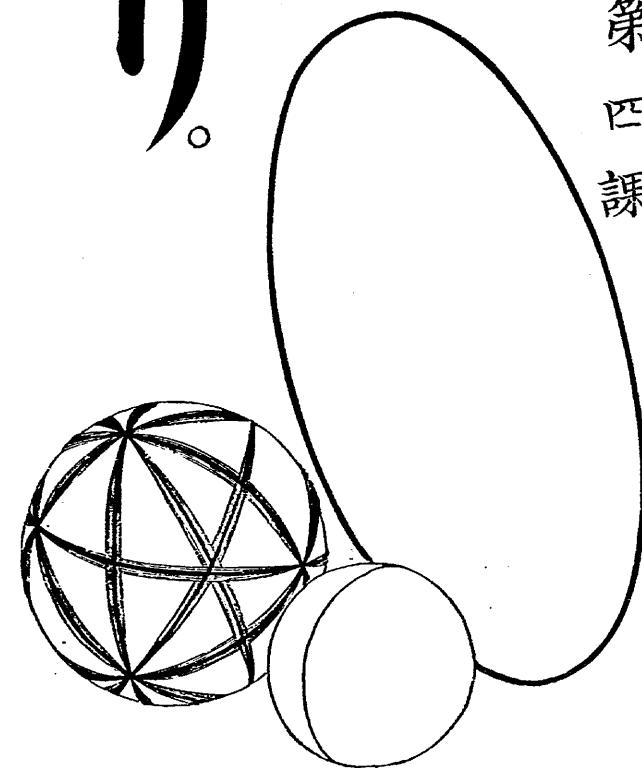
第五課



マ

ワ

マリ。

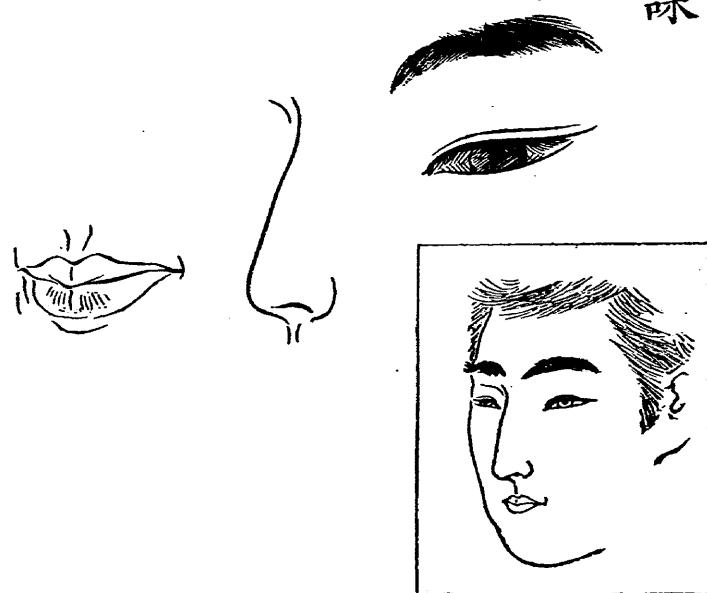


第四課

チ ハ メ

クハメ。
チナ。

第六課



練習

ヒナ。ト。
ワク。

クマ。モリ。

ウ ケタ ツ

ウタマツ
メ。ケ。

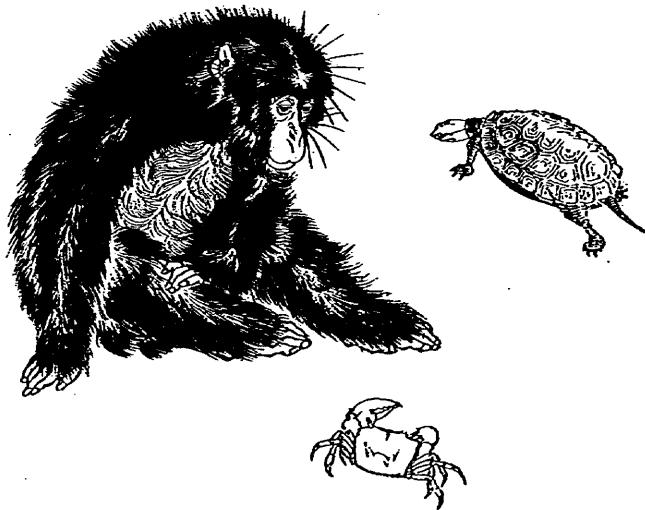
第八課



ルサ 二 力

力 サルニメ。

第七課



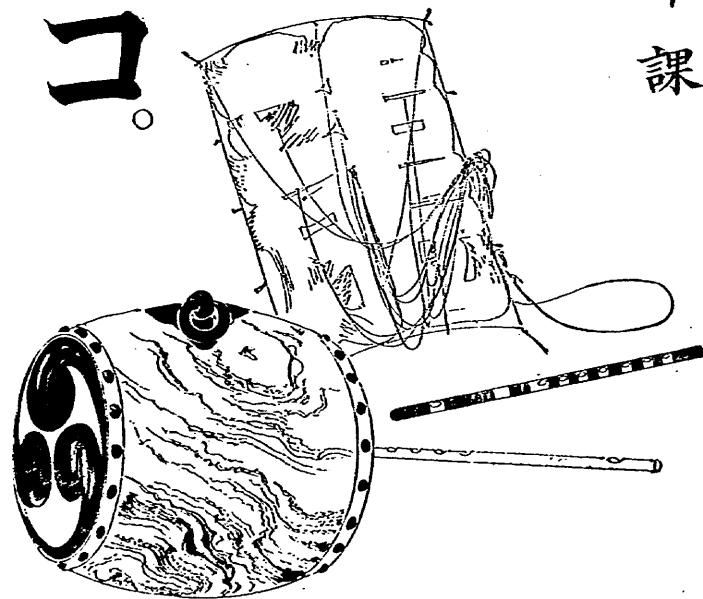
イ

コ

エフ

タイコ。 フタコ。

第十課



ム

ノ

シ

ムツウ チ。 ノハシ。

第九課



練習

ハチ。カサ。ツル。タニ。ウリ。

ムシ。エリ。コメ。イケ。フノリ。

第十一課

アキツ子。イヌ。アヒル。



子キ

ス

ア

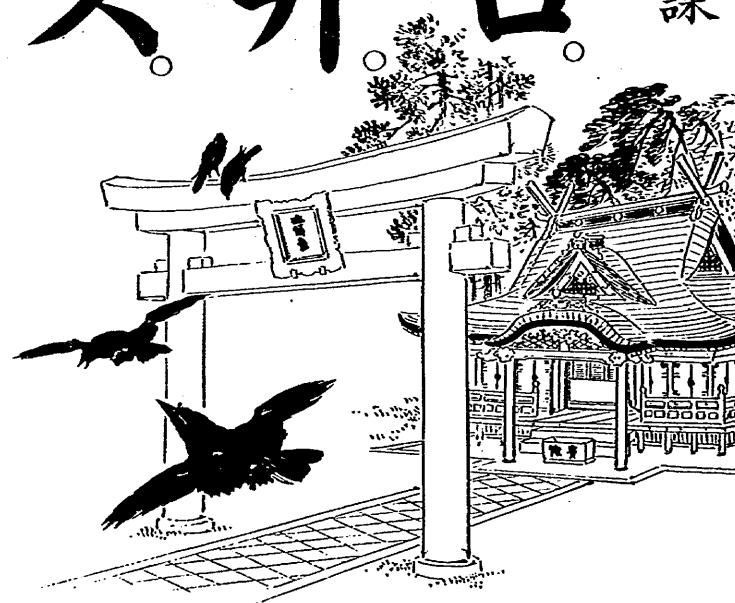
スラ

井

口ヤ

カ
トリ
ラス。
ト
リ
井
口
ヤ
シ
ロ。

第十三課



オ

テソ

ユ

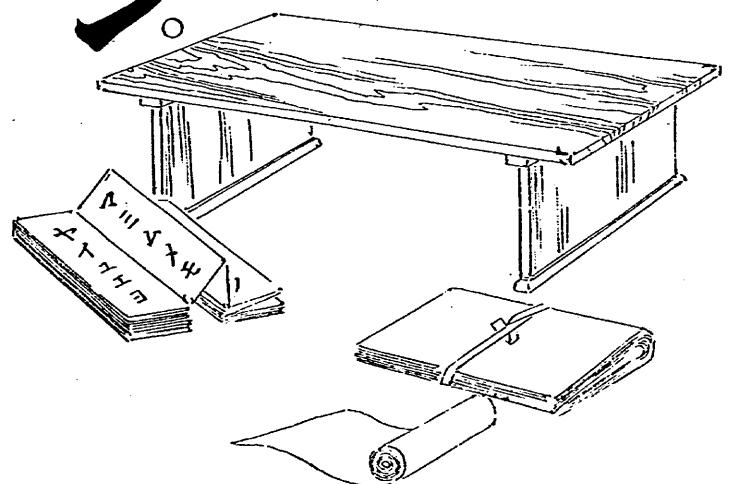
オ
モ
ト。
ソ
テ
ツ。
ユ
リ。

第十二課



第十四課

カツクニ。エホリホン。



ンホヲ

ミ

エ

第十五課

セリ。メナ。ヨヘ。レシ。



レ

ヘ

ヨ

セ

練習

キヌ。アユ。ヤ子。ソラマメ。
ホロ。ヘラ。テラケ。オシエ。
コヨミ。スミレ。ヒキウス。スヰセシ

五十音

ナ	タ	サ	カ	ア
ニ	チ	シ	キ	イ
ヌ	ツ	ス	ク	ウ
子 <small>ネ</small>	テ	セ	ケ	エ
ノ	ト	ソ	コ	オ

ゲ ピ ジ

トカゲ。ヘビ。キジ。

第十六課



ハ ビ マ
シワラヤマ
井リイ
ウルユム
エレエ
ヲロヨモ

ダ ブ ゴ ザ

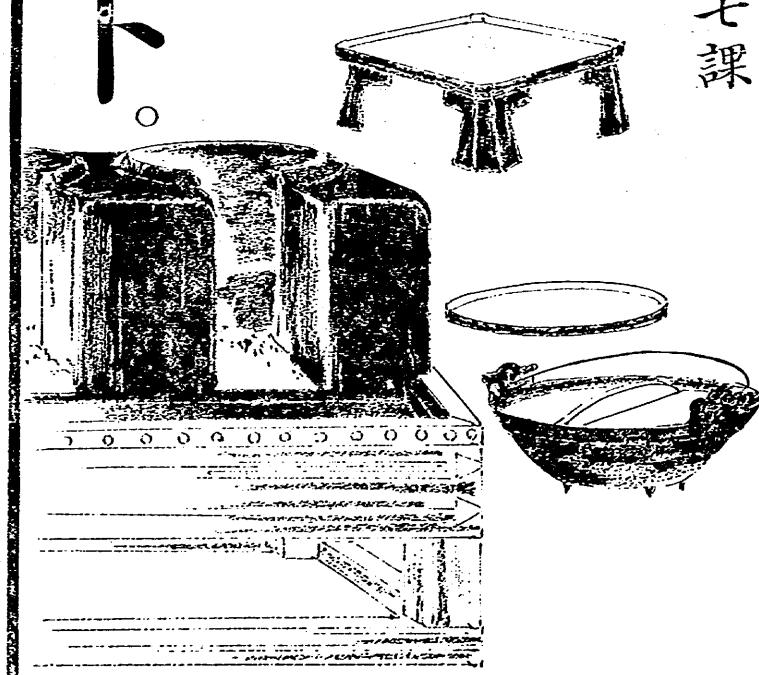
ダカカザ
ブゴル。
ダイコン。



第十八課

ド ベ ボ ゼ

カナボゼ
マベシン。
マド。



第十七課

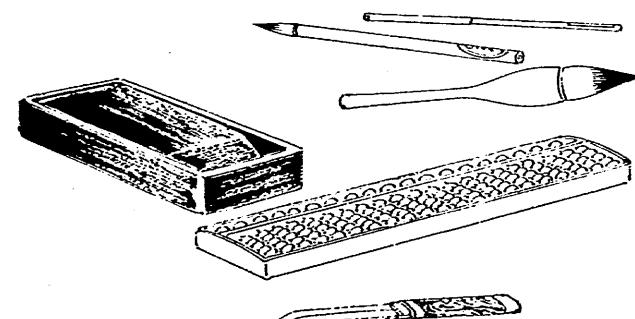
グヅ ヴ ギ デ

ニヤフ
ナギ。
ニヅヅ
グルマ。

第二十課

ガ バ ズ デ

ソスフ
ズリ。デ。
コガタナ。
口バリ。

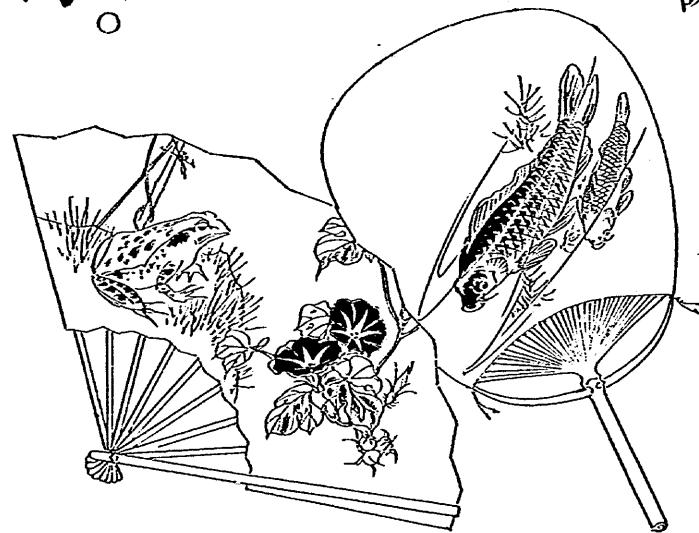


第十九課

木 ヘ ハ ピ フ ィ ハ

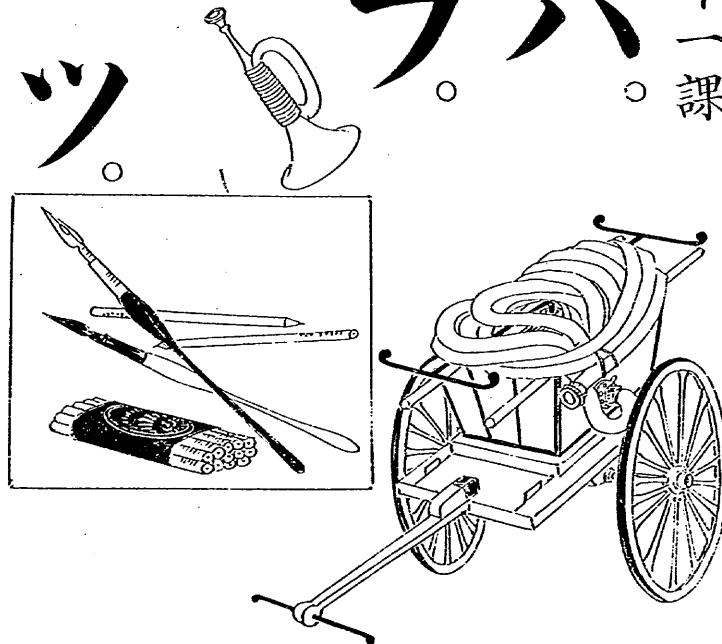
アカコアウ
ヘビ。フチハ
サガル。ギハ
ホ。

第二十二課



ピ ペ プ ポ パ

エンビツ。ラ
エンツ。ボ
エンツ。ラ
エンツ。ボ
エンツ。ラ
エンツ。ボ



第二十一課

練習

ニジ。 ゲタ。 ムカデ。 ズボン。
 ドビン。 ゴゼン。 ブタ。 フヂダナ。
 クギ。 ミヅレ。 パン。 スツボン。
 ラン。 バンペイ。 ガンビ。 ツルベナハ。
 ザフキン。 ウグヒス。 イヘ。 ホホヅキ。

濁音

ガ	ギ	グ
ザ	ジ	ズ
ダ	ヂ	ヅ
バ	ビ	ブ

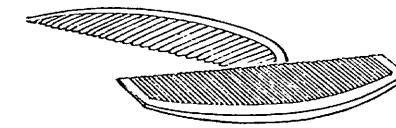
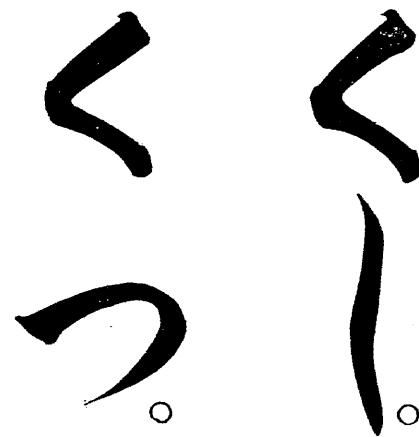
次清音

ハ	ビ	ブ
ヒ	ヂ	ヅ
フ	ジ	ズ
ヘ	デ	ベ
ホ	ド	ボ

第二十三課

いく

つ



第二十四課

う

の

う
つ
う
の
。



第二十五課

うり。つる。

うりのつる。



る。り

第二十六課

はいと。いど。
いどはり。



第二十七課

みせ ち

は
せ
み
ち
は
ち
と
せ
み



練習

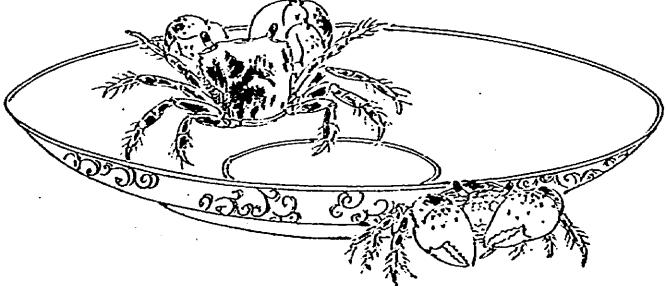
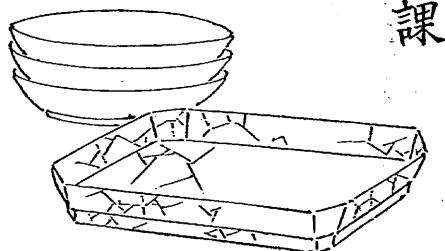
い。せり。くち。うみ。

くのは。つるとはと。

第二十八課

にか
らさ
さ
から

にか
から
に
にか



第二十九課

るわ
ざ
ざる
くわる
ざる

ざるにくわる。

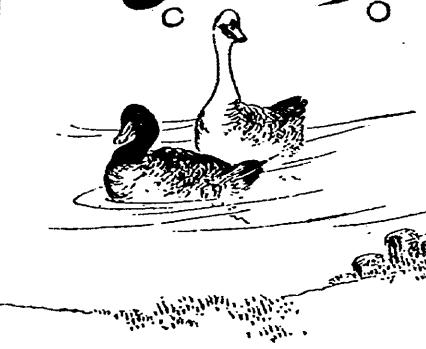


第三十課

いけどもど。

あごのみづ。

けにあひる。



ひあ

づ

ごけ

第三十一課

たかいへい。

ふとひきり

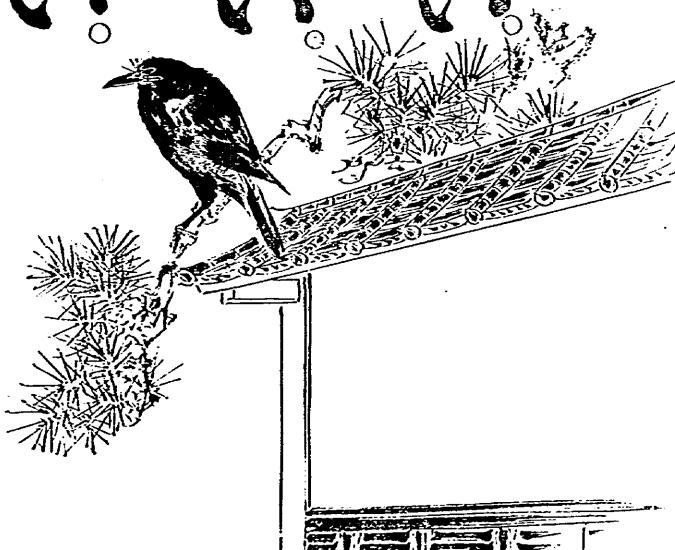
ほういふぢ。



第三十二課

をばま す ろべ

かべーろい
からすくらに
まつばあをい。



練習

たらりと。たかづか。ざわざわと。くちま。
をけのわ。ひつ。のふた。
ねどに。つるぐ。まつに。がぢ。
あをじ。くわ。うづく。いばら。
すみへらじ。こと。ほうい。

第三十三課

かぜがふく。

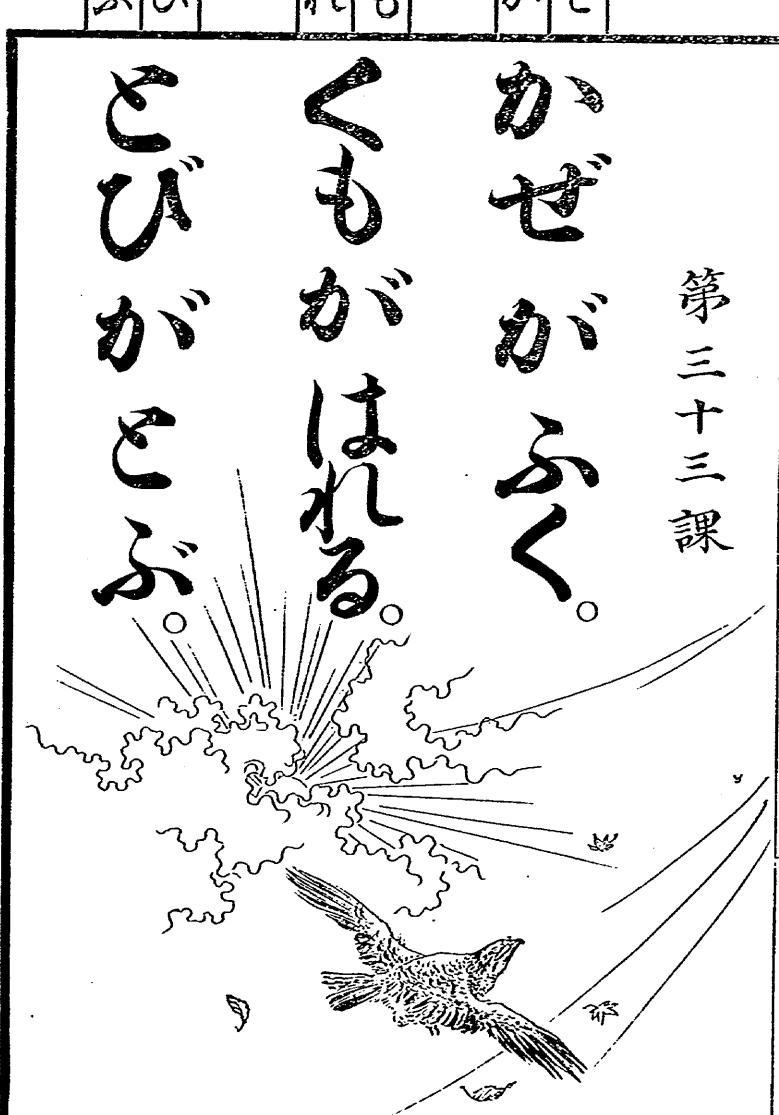
くもがはれる。

とびがとぶ。

ぶび

れも

がぜ



第三十四課

はねをつく。

てまりをもつ。

たこをあげる。



げこ

て

ね

第三十五課

あでで
ゑをかく。
へんで
もをうつす。



第三十六課

むゆれ め や はぎ
うさぎ は、
はやくはーる。
かめ は、
たぐくあゆむ。



第三十七課

ほたんの
はながひらく。

な

ぼ

ごだに

やなぎの
ぬだがうごく。



練習

あめが やむ。ねこが なく。
ぜんを かく。こてを もつ。
ぺんと、ゑを かく。
ゆびで、ごい を もつ。
きどは、はやく こぶ。
うーは、たろく あゆむ。
れんげのはなが、つぼむ。
すぎの らだが、をれる。

第三十八課

ば
ふ

ぱ

ひけーが
ほんふをひく
へいたいが
らつはをふく



第三十九課

うめに

ひぐ

づ

うぐひすがなく
たけに、

すずめがとまる。



第四十課

四 五 三 二 よ へ う ほ ふ

ゆふがほのか
かずを、かづへ
てみよ。

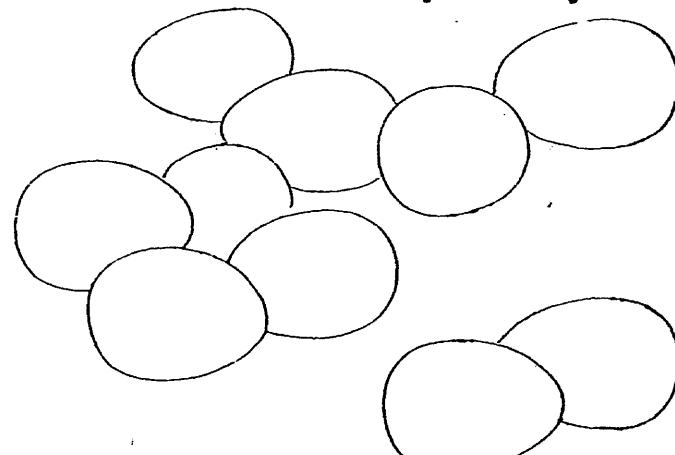
一つ、二つ、三つ、四つ、
五つ、六つ、七つ、八つ、
九つ、十の



十九 八 七 六

第四十一課

一つ、二つ、三つ、四つ、
五つ、六つ、七つ、八つ、
九つ、十の
たまごがある。



第四十二課

いぬが、

一、二、三、四、五、六、七、
八、九、十、十匹き、

あうんでをる。



ひ

ぬ

練習

うまがまめをくふ。
ひとがかつぱをぬぐ。
かほにひげがはへる。
たきにこひがのぼる。
こつぶのかずをかざへてみよ。
一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、九つ、十
にんびつが、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
十ほん、からげてある。

いろは

い	へ	い	
た	と	ろ	
れ	ち	は	
を	わ	ぱ	
な	う	ば	
た	づ		
る	か		
へ	り		
い	に		
	ほ		

せ	あ	け	の
み	け	げ	
す	さ	ふ	た
ず	ざ	ぶ	
ん	き	こ	く
ゑ	ぎ	ご	ぐ
ひ	ゆ	に	や
び			
も	め	て	ま
		で	

數字

六	一
七	二
八	三
九	四
十	五

正訂尋常小學讀本卷之一終

版權所有

東京市京橋區築地
二丁目二十一番地
西
川崎又次郎
國光社圖書部
發兌
發印刷者
發行
發售
發行者
發售者
發售者

東京市京橋區築地
二丁目二十一番地

